



躍進する須賀川創英館高校

校長 渋川 卓也

須賀川創英館高校は、百十五年の歴史を持つ須賀川高校と七十四年の歴史を持つ長沼高校が統合し、統合両校の伝統を継承しつつ、令和を生き抜く力をはぐくむ拠点校として三年目を迎える学校です。キャリア指導推進校として、生徒の幅広い学習ニーズに対応した教育活動の充実を図り、より一層地域と連携し、地域を支える核となって活躍する、社会に貢献できる人材育成を図ってまいります。

本校独自の「経済社会と人間」や「キャリア探究」、2学年から始まる4つのコース（「文科系探究コース」「理数系探究コース」「ビジネス・教養コース」「芸術・スポーツコース」）、医療従事者としての人間性、職業観を高める「保健・医療人材育成教育プログラム」等の学びをとおして、生徒一人一人の進路希望の実現に努めてまいります。

「校訓」

自律 叡智 創造

【教育目標】

地域社会・国際社会の一員として、様々な課題を捉え、それらの解決に向けて自らが主体的に参画し、自他共に認め合いながら、社会に貢献していく人材を育成する。

【求める生徒像】

日々の授業をとおして、教科、科目の学習や18歳成人へ向けた取組に興味・関心を持ち、自ら校外の教育活動に意欲的に取り組み、自身のキャリア形成を積極的に図る生徒。

【学校経営方針】

- ☆ 主体的に物事を捉え、社会の変化に対応し、社会に参画できる人材を育成します。
- ☆ 探究活動や授業の充実を図り、学ぼうとする意欲と力を引き出す教育を実践します。
- ☆ 生徒指導の充実と個々の生徒理解に配慮し、健康な心と体を育成します。
- ☆ 公正さと自立心を醸成し、豊かな人間性と社会性を備えた地域に貢献する生徒を育成します。
- ☆ 生徒一人一人の個性を生かし、各々の進路希望を実現します。
- ☆ 地域のニーズに応えるとともに、地域とともに歩む魅力的な学校づくりに努めます。
- ☆ 社会の一員としての役割を果たし、社会的職業的に自立して生きるための力をつけるキャリア教育を系統的に行います。
- ☆ 授業や進路に関わる教員研修等を充実させ、情熱と使命感、倫理観にあふれる教職員となるよう、さらなる資質向上に努めます。
- ☆ 校務の効率化を図り、教職員の勤務環境を整備します。

令和6年度 4つの重点目標

I 学ぶ意欲の向上

- 1 生徒の可能性を引き出す授業の実践
 - 授業の工夫改善、基礎力の定着、SDGsの視点
 - 授業第一、完全授業の実施、課題解決型学習の実施
- 2 保護者との連携・協力
 - WEBサイトやメール等による保護者への情報提供
 - PTA総会や各種委員会への参加促進
- 3 個別指導、課外等の充実
 - 全校体制による委員会を活用した小集団、個別指導（小論文・面接等）
 - 朝学習の推進、家庭学習の定着、課外の有効活用
 - 読書活動の推進
 - 各種検定試験の合格率向上
- 4 教員研修の充実
 - 授業研究、校内研修の実施と積極的な参加、活用
 - 授業や進路に関わる校外研修等への積極的参加
 - 定期的な互見授業の実施、「学びの変革」の推進
- 5 学習環境の整備
 - 環境美化の徹底
 - 施設設備の安全点検の徹底、学校事故の防止

II 生徒指導の充実

- 1 自己指導能力の育成
 - 「あいさつ運動」の推進
- 2 健康教育・安全教育の充実
 - 教育相談部の機能充実
 - 特別な教育的支援を必要とする生徒への対応
 - 地域のセンター的機能の活用（須賀川支援学校との連携）
 - スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカーとの連携によるきめ細やかな指導
 - 生命や性についての指導の充実
 - ・講演会等の実施、LGBTへの理解促進
 - 登校・下校指導（事故の絶無）
 - ・交通安全教室の実施
 - ・自転車点検、駐輪指導
 - いじめの未然防止と早期対応
- 3 進路意識の高揚と進路希望実現
 - 二者面談、三者面談等による生徒並びに保護者の進路意識の高揚
 - きめ細かな指導による志望校合格率・就職内定率100%の実現

III 各種活動の活性化

- 1 部活動の奨励（運動部・文化部の活性化）
 - 部活動加入率・継続率の向上
 - 運動部の県大会上位入賞、上位大会への出場
 - 文化部の県大会上位入賞、上位大会への出場
 - 文化部の成果を発表する機会の確保と参加促進
 - 環境整備（練習場所等の整備や確保）、部活動再編計画の推進
 - 達成感のある部活動の助長
- 2 生徒会活動の活性化
 - 主体性を持って活動に取り組める環境づくり
 - 達成感のある生徒会活動の助長
 - ・創英館高生としての帰属意識の醸成
 - ・「あいさつ運動」への参加促進
 - ・全生徒が参加する体育祭の企画・運営
 - ・他校との交流促進
 - ・生徒会役員と校長との懇談会の実施（年2回）

IV 地域との連携推進

- 1 同窓会・地域の関係機関との連携
 - 同窓会関連行事への参加促進
 - キャリア指導の推進
 - 総探における地域との連携、SDGsの視点による思考、「福島を生きる」教育の推進
 - 地元企業や商工団体との連携（インターンシップの推進）
 - 福島イノベーション・コースト構想機構との連携
- 2 地域行事等への参加・協力
 - 地域の文化・芸術・歴史の学び
 - 市役所等との情報交換、連携と各種行事への参加や協力
 - 松明あかしや長沼まつり等への参加や協力
 - 円谷メモリアルマラソン大会への参加や協力